



# JICC-02株式会社による当社株式等に対する 公開買付けに関する意見表明（賛同）の概要

---

2023年6月26日

# 免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。本資料の情報は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

# 当社取締役会決議の内容の概要

本日6月26日開催の当社取締役会において、JICC-02株式会社による公開買付けに賛同の意見を表明すること、並びに株主、新株予約権者及び米国預託証券所有者の皆様に対し、JICC-02株式会社による公開買付けに応募することを推奨すること等を全会一致で決議いたしました

|           |  |
|-----------|--|
| 公開買付者     | JICC-02株式会社<br>(JICキャピタル株式会社 (以下、JICC) が発行済株式の全てを所有)   |
| 公開買付期間    | 20営業日 (2023年12月下旬日途の開始を目指す)  |
| 買付価格      | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 普通株式1株につき4,350円</li> <li>• 新株予約権1個につき434,900円</li> <li>• 米国預託株式1株につき4,350円</li> </ul> |
| プレミアム等    | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一定期間の平均株価に対して、～約41%のプレミアム (詳細はP.9参照)</li> <li>• 直近52週間最高値である3,795円を超える水準</li> </ul>   |
| 買付予定株数の下限 | 138,531,400株: 所有割合にして66.67%  |
| 買付予定株数の上限 | なし   |
| その他       | 公開買付け成立後はスクイーズアウト手続により、当社は上場廃止、公開買付者の完全子会社となる予定  |

強固な事業基盤の確立と持続的な成長につながる、JICCとの戦略的パートナーシップの構築

■ **戦略的パートナーの下で非公開化し、大胆かつ中長期的な戦略投資、構造改革や業界再編を機動的に推進。**  
当社のコア事業を強化し、更なる**企業価値向上**を企図

- デジタルソリューション事業：**国内産業の国際的競争力の強化・半導体材料業界の再編を目指す。**業界再編の中核を担うべく、競争力強化・事業拡大を推進
- ライフサイエンス事業：**バイオ医薬品開発及び製造のサービス強化、欧米やアジアにおける市場開拓及び事業拡大、等の加速を目指す**

■ 本取引は、当社の強固な事業基盤の確立と持続的な成長につながる。**全ての当社ステークホルダーにとって現時点における最善の選択肢**と思料

■ 取締役会は、独立した特別委員会からの答申内容も踏まえ、**公開買付価格を含む諸条件が妥当と判断**

■ 本取引を通じて事業成長及び企業価値向上が実現した後は、再上場を目指す方針

## 現状

- 常に最先端の技術革新を追求するリーディングテクノロジーカンパニーとして、経営の効率化と透明性・健全性を維持して継続的に企業価値を創造し、全てのステークホルダーから信頼され、満足される魅力ある企業を目指している
- コア事業とするデジタルソリューション事業の半導体材料は、EUVをはじめとする先端技術への投資を拡大し、設計・開発・製造で世界をリードするポジションを獲得
- 最先端で事業を継続するためには、各事業において、大きな投資が必要

## 課題

- 半導体は経済安全保障推進法における特定重要物資に指定され、技術開発・設計・製造基盤の確立を目指すことが政府骨太方針等で謳われている
- 次世代技術開発競争の激化に伴い、海外の半導体材料メーカーにおいては大型の合併・買収を通じた事業規模拡大によって競争力を高めている。国内にも有望なメーカーは多数存在するものの、合併・買収が進んでいない日本の半導体材料業界において国際競争力を強化するには、業界再編を志向した戦略的打ち手が必要

## 課題解決に向けた 取り組み

- 競争力強化及び企業価値向上に向けた様々な検討を進める中で、短期的業績に左右されず、大胆な戦略投資、構造改革や業界再編を実現するための、資本政策及びパートナー候補の検討を行ってきた
- 株式の非公開化後においても、中長期的な株主価値のみならず、グローバルの全ステークホルダーに対する価値を高め、より強固な事業基盤と価値向上に注力したい

# 当社の重点戦略



当社の目指す姿の実現に向けて、JICCとの協業を通じて戦略の推進を加速

## 2024年度に向けた中期経営方針

中長期的なレジリエンス（強靱性）とサステナビリティ（持続可能性）を備えた事業構造・経営体制への転換により、すべてのステークホルダーに価値を創造

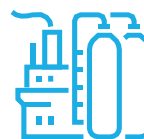
デジタルソリューション、ライフサイエンスをコアとした事業ポートフォリオの選択と集中

ROE 10%以上の達成、コア営業利益 最高益\*の更新を目指す

\* 600億円以上（デジタルソリューションおよびライフサイエンス）

あらゆる環境変化に適応する強靱な経営基盤の構築に向け、イノベーション、DX、ESG、従業員エンゲージメントの取り組みを推進

JICCとの協業により戦略の推進を加速し、リーディングテクノロジーカンパニーとしての存在感を高める



日本の半導体材料セクターにおけるポジションを強化し、国内の業界再編において主導的な役割を担う



革新的な技術で社会に貢献する真のグローバルビジネスの実現に向け戦略を展開



中長期的な視点に立ち、戦略重要度に重きを置いた継続的な研究開発投資により、イノベーションを創出し競争優位性を確立

出所：開示資料等

企業理念 Materials Innovation の実現へ

大規模・長期・中立的なリスクマネー供給を通じて、国内産業の国際競争力強化に向けた事業再編を促進

## JICC概要

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 買付者社名 | JICキャピタル株式会社                  |
| 株主    | 株式会社産業革新投資機構                  |
| 主な業務  | エクイティ投資及びエクイティ投資に付随するコンサルティング |

## JIC概要

|     |   |
|-----|---|
| 社名  | 株式会社産業革新投資機構<br>(Japan Investment Corporation: JIC) |
| 出資金 | 3,804億9,996万円 (2021年1月現在)                           |
| 株主  | 財務省、日本政策投資銀行、民間企業24社                                |
| 根拠法 | 産業競争力強化法  |

## ミッション・背景

- 国内産業の国際競争力強化に向けた事業再編の促進、Society 5.0の実現に向けた新規事業・新産業の創造、デジタルトランスフォーメーション（DX）促進をはじめとした次世代社会基盤の構築、社会的課題の解決、民間資金の呼び水といった政策目標と収益目標の両立

出所：開示資料等

## 特徴・強み

### 半導体業界等の重要な政策領域に対し、投資活動を通じて貢献

|                     |  |
|---------------------|--|
| 大規模・長期・中立的なリスクマネー供給 | <ul style="list-style-type: none"> <li>不確実な経済環境が続く中において、<b>政府系ファンドとして大規模・長期・中立的なリスクマネーを供給可能</b></li> </ul>                                       |
| 事業支援と成長促進           | <ul style="list-style-type: none"> <li>投資先企業に対し経営支援や戦略的アドバイスを提供し、事業成長や競争力向上を支援</li> <li><b>国内外のネットワークやリソースを活用して、企業の事業展開やグローバル化を支援</b></li> </ul> |

## 投資実績(JIC傘下のINCJの事例)

|        |   |
|--------|---|
| 半導体業界  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ルネサスエレクトロニクス株式会社 (2012年)</li> </ul>  |
| 化学業界   | <ul style="list-style-type: none"> <li>住化積水フィルム株式会社 (2016年)</li> <li>株式会社クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン (2012年)、等</li> </ul> |
| バイオ医薬品 | <ul style="list-style-type: none"> <li>KBI Biopharma, Inc. (2015年)</li> <li>*当社との共同投資</li> </ul>                    |

# JICCとの戦略的パートナーシップの意義・目的

JICCとの戦略的パートナーシップは、当社が日本の半導体産業の成長と業界再編に主導的役割を担うことを可能にするとともに、再上場を基本方針とした成長戦略を推進

- 1 半導体材料領域における業界再編へのコミットメント**  
 業界再編への意思を明確にすることで、パートナー候補との協議を進めることが可能。政府系ファンドという中立的な立場を生かし、円滑な再編・統合を期待
- 2 ライフサイエンス事業の方向性合致**  
 成長戦略の策定や戦略に基づくアクションプラン策定支援を通じた、当社方針サポートを期待
- 3 政府系ファンドとの戦略的パートナーシップ**  
 収益目標と政策目標を両立する方針の元、短期的な業績変動にとらわれず企業価値の向上に資する中長期的な支援（大規模・長期・中立的なリスクマネーの供給）を期待
- 4 事業再編及び成長戦略のノウハウ**  
 当社経営・事業環境に係る知見と半導体分野を含む豊富な投資実績、成長戦略・エクイティストーリーの構築力の活用を期待
- 5 JICCが持つネットワークの活用による更なる組織力強化**  
 国内外の機関投資家及び民間事業者とのネットワークを活用し、人材採用を含むグローバルでの成長戦略の立案及び実行サポートを期待



# 本取引が株主の皆様を提供するメリット

当社株主の皆様に対して、他の同種案件と遜色ない水準のプレミアムを付した価格での合理的な当社株式の売却の機会を提供

## 同種案件と遜色ない水準のプレミアムを付した価格での合理的な当社株式売却の機会

株価プレミアムを付した取引条件

### 一定期間の平均株価に対し、～約41%の株価プレミアムにて株式を売却することが可能

- 公表前営業日終値に対して34.51%のプレミアム
- 直近1か月の平均株価に対して 30.47 %のプレミアム
- 直近3か月の平均株価に対して 36.66 %のプレミアム
- 直近6ヶ月の株価に対して 41.42%のプレミアム

公正な手続きを経た取締役会決議

### 取締役会の全会一致にて、本公開買付けへの賛同及び応募推奨を決議

- 公開買付者及び当社並びに本取引の成否のいずれからも独立した、当社の独立社外取締役4名から構成される特別委員会より、本公開買付けへの賛同及び応募推奨をすることが相当であるとの答申書を受領
- 利害関係を有しない取締役9名全員の承認、及び監査役3名全員の異議のない旨の意見により、本公開買付けへの賛同及び応募推奨を決議

## 強固な事業基盤の確立と持続的な成長につながる、JICCとの戦略的パートナーシップの構築

■ **戦略的パートナーの下で非公開化し、大胆かつ中長期的な戦略投資、構造改革や業界再編を機動的に推進。**  
当社のコア事業を強化し、更なる**企業価値向上**を企図

- デジタルソリューション事業：**国内産業の国際的競争力の強化・半導体材料業界の再編を目指す。**業界再編の中核を担うべく、競争力強化・事業拡大を推進
- ライフサイエンス事業：**バイオ医薬品開発及び製造のサービス強化、欧米やアジアにおける市場開拓及び事業拡大、等の加速を目指す**

■ 本取引は、当社の強固な事業基盤の確立と持続的な成長につながる。**全ての当社ステークホルダーにとって現時点における最善の選択肢**と思料

■ 取締役会は、独立した特別委員会からの答申内容も踏まえ、**公開買付価格を含む諸条件が妥当と判断**

■ 本取引を通じて事業成長及び企業価値向上が実現した後は、再上場を目指す方針